

平成18年 5月31日
 青森県企画政策部
 並行在来線対策室

青い森鉄道線目時・青森間の概要

1 距離及び駅数

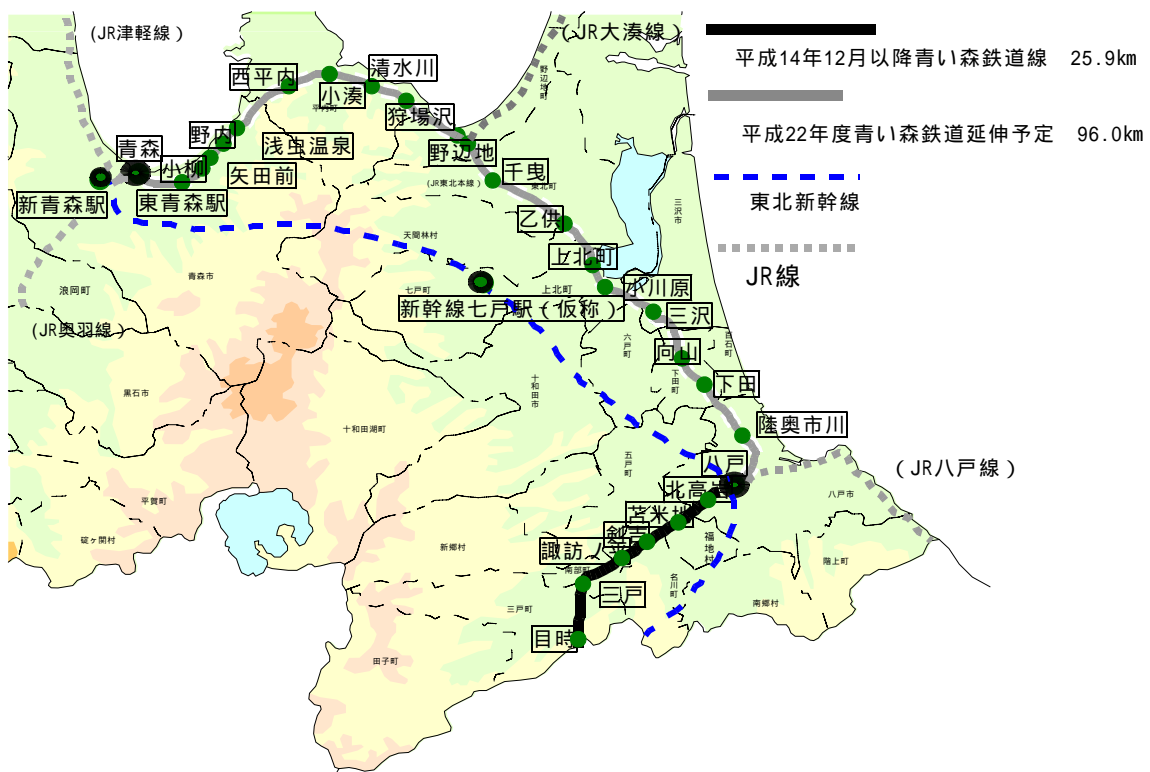
- (1) 目時・八戸間 25.9km 7駅
 (盛岡・八戸間 107.9km 24駅)
- (2) 八戸・青森間 96.0km 20駅

走行列車数：普通47本 { 八戸・青森直通運転23本 区間運転 24本	特急38本 (寝台 5本含む。)	貨物40本

2 輸送密度(普通列車に係るもの)

- (1) 目時・八戸間の輸送密度()
 - 将来需要予測調査(平成13年11月報告) 1,748.8人/日
 - 平成16年度実績 1,229.6人/日
- (2) 八戸・青森間の輸送密度(平成9年JRデータ) 2,552.0人/日
 線区の1日当たりの輸送人キロを営業キロで除した数値

並行在来線路線図



3 現在の経営状況について

(1) 青い森鉄道株

輸送人員の状況

平成15年度	平成16年度	平成17年度
837,810人	771,512人	721,714人

開業後の収支状況

(単位：千円)

項 目	平成15年度		平成16年度		平成17年度	
	使用料 減免後	使用料 減免前	使用料 減免後	使用料 減免前	使用料 減免後	使用料 減免前
収 入	443,612	443,612	451,799	451,799	457,128	457,128
支 出	443,612	706,513	451,799	730,982	474,466	747,100
費用・税	436,221	436,221	450,592	450,592	474,466	474,466
線路使用料	7,391	270,292	1,207	280,390	0	272,634
当期純損益	0	262,901	0	279,183	17,338	289,972

線路使用料の減免により、平成16年度までは収支均衡が図られたところであるが、平成17年度の線路使用料減免後の当期純損益については、県から線路使用料の全額免除を受けても、約1,700万円程度の赤字となる見込みである。

(2) 青森県

県は、第三種鉄道事業者として行う鉄道施設保守・管理に係る事業について、他の県事業と明確に区分するため、鉄道施設事業特別会計を設置し処理している。

【青森県鉄道施設事業特別会計予算】

(単位：千円)

歳 入				歳 出			
線路使用料	367,630	436,220	451,932	鉄道施設事業費	795,574	870,093	859,270
青い森鉄道株	7,391	1,207	0	公債費	13,288	13,288	111,092
JR貨物株	360,239	435,013	451,932				
施設使用料・雑収入	200,754	175,330	177,656				
一般会計繰入金	239,478	271,831	340,774				
合 計	807,862	883,381	970,362	合 計	807,862	883,381	970,362